様式第1号(第9条の4、第11条、第15条関係)

早出遅出勤務・深夜勤務制限・時間外勤務制限請求書

|  |
| --- |
| 請求年月日　　　　年　　月　　日(任命権者)　　　　　　　　　　　　　　様 |
| 　下記のとおり | □養育□介護 | のため | □早出遅出勤務□深夜勤務制限□時間外勤務制限　　　　　　　　　　　　　　　　　 | を請求します。 |
| 　　　　　　　　　　　　（□条例第9条第2項　□条例第9条第3項）　　　　　　　　　　　請求者　所属　　　　　　職名　　　　　　　　　　　　氏名（職員番号　　　　　　　　） |
| 1 請求に係る子又は要介護者 | 氏名（続柄等） | 　（　　　　　　　） |
| 生年月日 |  　　　年　　月　　日生(□　出産予定日) |
| 養子縁組の効力が生じた日 | 年　　月　　日 |
| 2 職員の配偶者で当該子の親である者の有無及び状況 | □有 | □深夜において就業している□負傷、疾病、身体上又は精神上の障害により養育又は介護が困難である□産前8週間(多胎妊娠の場合にあっては、14週間)又は産後9週間以内である | □無 |
| 3 要介護者の状態及び具体的な介護の内容 | 　 |
| 4 請求に係る期間 | 早出遅出勤務 | 年　　月　　日から年　　月　　日まで | □毎日□毎週　　　曜日□その他(　　　) |
| 深夜勤務の制限 |
| 時間外勤務の制限 | 　　　年　　月　　日から　□1年　　□　　月（12月満たないものに限る。） |
| 5 請求に係る早出遅出勤務の始業及び終業の時刻並びに当該時刻とする理由 | 時　　　分始業時　　　分終業 | 【理由】 |
| (注)1について①「続柄等」欄には、請求に係る子又は要介護者の請求者との続柄等（請求に係る子が特別養子縁組の成立前の監護対象者等に該当する場合にあっては、その事実。）を記入すること。②「生年月日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。なお、請求に係る子が請求の際に出生していない場合には、「生年月日」欄に出産予定日を記入し、□出産予定日にレ印を記入すること。③「養子縁組の効力が生じた日」欄は、子を養育するための請求の場合のみ記入すること。2について　①この欄は、子を養育するために深夜勤務の制限請求の場合において記入すること。　②「深夜において就業している」とは、深夜における就業日数が1月に3日を超えることをいう。3についてこの欄は、要介護者を介護するための請求の場合において記入すること。4について　小学校就学の始期に達するまでの子を養育するために早出遅出勤務又は深夜勤務制限を請求する場合には、当該請求に係る子が6歳に達する日以後の最初の3月31日以前の日を早出遅出勤務終了日又は深夜勤務終了として請求すること。5について　この欄の始業及び終業の時刻は、あらかじめ定められた早出遅出勤務に係る始業及び終業の時刻のうち、請求するものを記載すること。 |